

厚木児童思春期精神保健ネットワーク推進委員会

〔神奈川県推薦〕(神奈川県厚木市)

<http://www.aikou-hospital.or.jp/about/puberty.php>

代表者名：竹内 知夫 団体構成員数：16団体 250名

児童思春期の子供たちの問題は多義に渡っており、一つの機関だけで問題の解決を行うことはむずかしくなっています。

子供たちの問題を小中学校、教育相談センター、児童相談所、保健福祉事務所、警察、医師会、学校医、精神科医療など様々な機関の連携とネットワークを構築することで、一人の専門家が疲弊することなく問題解決を遂行するための活動をしています。

厚木児童思春期精神保健ネットワーク推進委員会も、当初は、小学校、中学校の教諭を中心に始まりましたが、現在では乳幼児から18才までの子供やその親の問題を担当している厚木市こども未来部家庭相談課からも委員会への参画を得るなど、子供に関する多機関が連携の必要性を認知し、児童思春期の子供たちに係わる関係機関の専門職の連携と技術向上及び一般市民への児童思春期精神保健の啓発運動として、年一回の本講座と年二回のワークショップを行っています。



年一回の本講座
(第20回の講演の様子)



第22回講演(本講座)の様子



ワークショップの様子

■選考委員のコメント

児童思春期の子供が直面するさまざまな課題に対し、各専門家と一般家庭・市民を結ぶネットワークにより、一部の関係者が疲弊しないような仕組みづくりをしていることを評価します。このような有意義な活動を22年間という長期に亘って継続することは全国のモデルと言えるでしょう。

[受賞者からの一言]

この度の受賞、驚きとともに大変な名誉に思います。

当委員会は、児童思春期の子供たちに関わる専門家とその機関との連携を深めることにより、現場から上がってくる意見を他機関や他職種の見方と方向性を参考にして、支援者自身がバーンアウトするような状況に陥らないように活動しています。

自分や所属組織が出来ない事やしてもらえない仲間作りが、子供たちの声にならない訴えを感じ取り必要な時に必要な専門家・機関へと繋げる連携が、単なる橋渡しではない技術として根付くことを目指したいと思います。



表彰状の授与